

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

高齢者の医薬品適正使用の指針（総論編）

高齢者医薬品適正使用検討会、高齢者医薬品適正使用ガイドライン作成ワーキンググループ
診療と新薬 55 巻 7 号、2018 年 7 月発行

Minds 掲載 無

■1 抑肝散

疾患:

低カリウム血症（副作用）

副作用に関する記載ないしその要約:

高齢者で汎用される薬剤の基本的な留意点の表中に、BPSD 治療薬として下記の記載がある。

『高齢者の特性を考慮した薬剤選択: 抑肝散が使用されることがあるが、甘草が含まれるため、偽アルドステロン症による低カリウム血症に注意する。』